



日本聖公会  
大阪教区教務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第405号 2009年2月22日発行

日本聖公会の教会暦には、他のキリスト教諸派とは違った独自の暦の呼び名があります。その代表的なものが大齋節です。広辞苑によると「齋」の字は「うやうやしく慎むさま」を意味し、「齋日」は仏教用語で「身・口・意の三業を清浄にする精進日」を指すとあります。この文字の意味から考察すると、日本聖公会が初代の教会の祈りや、主イエスに対する信仰を思い描き、キリストの苦難を想起することを真摯に受け止め、この期間を大齋節と呼ぶようになったということが伺えます。



## 大齋にありて

司祭 ヤコブ 松平 功

はなないでしょうか。聖書には、「灰」という言葉が旧約・新約あわせて20回以上使われていて、その言葉が使われる意味は少なくとも3つあると思います。第1の意味は「無価値なもの」。第2は、ヨブが行ったように灰の中に座ったり被ったりするという「懺悔のしるし」。第3に、犠牲の雌牛の灰を清め

山には山菜が芽生え、よもぎ、うど、ぜんまい、わらびなどが採れるようになります。しかし、山菜には渋味と苦味の「あく」があって、そのままだでは食べることができません。あく抜きをしなければなりません。今では、あく抜きに重曹をしますが、昔は重曹の代わりに、炭を入れていたそうです。そのため

味付けがあるのでしよう。特に聖公会の多くの教会では大齋始日に、悔い改めのしるしとして、灰の十字を額にしるされます。大齋節が悔い改めの期節であることをしっかりと心に刻み付けるためでもあります。そしてそれは、私たちの心の「灰汁抜き」の始まりのしるしでもあるのです。

この大齋節の日々を、主の御前で「齋」の字が表すように「身・口・意の三業を清浄にする精進日」として「うやうやしく慎み」、主イエスの十字架の意味を深く再考し、そして、心からへりくだって、罪を悔い改めて祈る時としたいと思えます。そして、この大齋中に、主イエスが十字架にかかられたのは、私たちの罪のためであること、また神から約束されている救いが「罪の赦し」の福音であるということを深く受け止めて歩んで行ければと願う次第であります。

大齋節は英語では「レント」といって、春を意味する言葉です。そして、この言葉は「四旬節」を意味するようになりました。「四旬節」とは40日のことで、イースターまでの主日を除いた40日間を意味します。その始まりの大齋始日を特別に「アッシュ・ウェンズデー」つまり、「灰の水曜日」と呼びます。何故、灰なのかとても不思議に思われるので

の儀式に用いたことから、「清め」などです。大齋始日の灰はその3つ全てを意味すると思います。私たちは、無価値なものであり、懺悔をして、清められなければならぬ。これらのことを心から求める期節の象徴として灰を用いるのです。昔は、灰というのは、灰汁抜きに用いられました。しばらくすれば、やがて春が来て

「あく抜き」という字は、「灰汁抜き」と書くようになったそうです。また、昔は洗濯をするのに洗剤ではなく、灰が用いられていたそうです。汚く見える灰が汚れを落とすのは、不思議な気がするのですが、灰には汚れを落とす力があるそうです。聖書が灰について、清めやざんげに関連付けて語るのは、こういった灰の持つ独特な特徴からの意

(まつだいら いさお・石橋 聖トマス教会牧師)

# 伊藤新会長の連合男子会が船出!

## 連合男子会2009年度「代議員総会」報告

連合男子会の2009年度代議員総会は、1月28日(水)午後7時から教区事務所集会所において、顧問の大西修教区主教、前任竹内信義司祭に代わって今年からチャブレンに就任された福田光宏司祭をはじめ、各教会代議員、同会の新役員、17教会の計29人が出席して開かれた。昨年まで6年、会長を務めた豊川雅章兄の任期満了に伴う次期会長選びで満場一致で推薦され第10代会長に就任したばかりの伊藤良三兄(聖マルコ)が議長を務め、顧問・チャブレン・会長の三者揃い踏みのお披露目の場となった。

伊藤新会長は挨拶のなかで、「代議員・役員にも高齢化が明らかだが、教会・教区や皆さんの役に立つ連合男子会を目指し、若手後継者の育成に努める」と述べた。また大西主教は、「教区の将来に関し、教区会懇談会のテーマについて、各教会男子会が中心にな

って教会内でよく話し合い、結果をもって宣教懇談会に臨んでほしい。30代40代の若い会員の参加を呼び掛け、意見を聞き、若い人たちとともに歩める新しいプランを実施してほしい」と挨拶された。総会は、2008年度活動

# 教区婦人会被献日礼拝

松浦 外美

2009年2月2日(月)大阪教区婦人会の被献日礼拝が尼崎聖ステパノ教会にて守られました。

司式 大西修主教、説教 成田邦雄司祭、補式 奥康功



実績と会計決算が報告されて承認、2009年度活動計画と会計予算も了承された。とくに今年の計画案では、「祈りと証しの会」(3回程度予定)のほか、10月(11~12日の連休利用)に「一泊による修養会」を、また「合唱祭」(プール学院中高での教区礼拝の午後開催)を、教区内5(または4)ブロックでの交流会に助成金支出を考慮...などが発表された。これらの催し

司祭、田宮紘執事、チャブレン 内田望司祭により執り行われました。

特祷「永遠にいます全能の神よ この日、独りのみ子は、律法に従い神殿において献げられ、...どうかわたしたちも主にあつてみ前に献げられ...」とお祈りしました。

成田司祭は、旧約聖書(マラキ書3章1~4)の中に書かれている「あなたたちが待望している主は、突如、その聖所に来られる」又、福音書

は、今後意見を聴き各実行委員会検討のうえ実施に移されることになる。会報、名簿の発行も予定。

このほか、出席した代議員、役員が順に自己紹介、豊川前会長への感謝の言葉と拍手のあと、最後に一同が主の祈りを唱え、主教の祝詞にて閉会し解散した。なお夜の席上献金25,700円は、「教区内諸福祉施設のために」献げられた。(文責・森)



(ルカによる福音書2章22~40)の中に書かれているその事々を通してお話を進められました。

成田司祭は、夫人が徐々に視力を失われたこと、息子さんのお仕事を通して高齢者の

方々の生き方を見、娘さんの存在によって、幸せについて深く考えられました。

その一こま一こまを聖書に光をあて、2000年前の出来事が、今まさに現在とオーバラップしていると私たちにメッセージしてくださいました。

お孫さんの受洗とイエスさまが神殿に献げられたこと、マリアさまの信仰が私たちに突如せまってくる気づきが与えられ、シメオンの喜び、アンの祈りも時空をこえて共有できた思いでした。

最後に21世紀にむけて、私たちはイエスさまとの出会い、感動を伝えてゆく宿題が与えられたことでした。

礼拝後、礼拝をつかさどっていたいただきました主教さまはじめ司祭さま方の紹介、またご出席くださいました教役者の先生の紹介がおこなわれました。

尼崎聖ステパノ教会の教会委員からはステンドグラスを含めた教会の紹介がありました。

この日、天気にも恵まれ、教役者、京都教区信徒、子ども、(次頁四段目につづく)

# 在日協働委員会・第1回学習会 に参加して

森田 治美

在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会では教区の皆様と一緒に朝鮮半島の歴史や文化、日本との係りなどの理解を深めるために定期的に学習会を開催することになり、その第1回目の学習会が1月17日(土)聖ガブリエル教会にて開かれました。大阪教区以外からの

参加もあり26人の方が参加して下さいました。講演会では、講師の京都教区司祭・井田泉牧師が朝鮮半島でのキリスト教の歴史について、キリスト教の始まりのとき、日本による植民地支配・独立運動・韓国民主化運動の時代、そして日韓連帯・日韓

聖公会宣教協働の時代、と大変わかりやすくご説明下さいました。朝鮮半島の激動の時代に多くのクリスチャンの方が重要な役割を担い、キリスト教者としての責務を果たしてこられたことが良く分かりました。三・一独立運動の拠点が教会であったこと、伊藤博文を射殺した安重根がクリスチャンであったことなどの学習会で初めて知ったことも多くありました。日本と韓国の両方で歌われている聖歌

(前頁よりつづく)  
男性信徒を含む158名の出席があり、ともに豊かな礼拝を捧げることができたことは感謝でした。  
阪神ブロックでお手伝い

下さいました芦屋聖マルコ教会、西宮聖ペテロ教会のみならず。さまに心よりお礼もうしあげます。  
(まつうら そとみ・尼崎聖ステパノ教会信徒)

## 違いこそ素晴らしい



大阪に来てやがて5カ月、22教会のうちの4

分の3、教区と深い関わりの中にある学校をはじめ諸施設の3分の2を巡回した。  
新しい環境(教区)に身を置き、それぞれの教会の働きや多様性に触れる中で、信徒・教役者・教区関連施設で働く方々との出会いと交わりは、私にとって大きな楽しみである。訪問した教会や施設で、新たな気づきを与えられ

るからである。それはいつも新鮮な思いを湧き起こさせてくれる原動力でもある。「所変われば品変わる」ということわざがあるが、まさにそのとおりである。違いがあることは当然であるし、違いを知ることは楽しいし、素晴らしい。教会の礼拝、雰囲気、施設の様子など、どれ一つとってみても同じものはない。共通点の方が勿論多いが、違いも意外にある。新たな気づきを違いの中に発見し、そ

の違いが実は個性、特性であることを知らされることもある。違うことをプラスと見る視点の大切さを再認識するのである。  
イエスさまが個性豊かな12使徒をお選びになった意味をあらためて考えてみたい。  
さて、アメリカ合衆国のオバマ大統領は就任演説で、「わたしたち」と「多様性」を強調したが、教会こそ、神によって立てられた「わたしたち」の教会であり、その中に「多様性」があり違いがあることを、今日の状況の中でしっかりと見つめ、それを積極的に

受け止め、生かすことが必要である。  
「管区が、教区が、教会が、牧師が、委員会が、誰々さんが何々してくれないから…」という受け身の考え方を脱却して、厳しい現実の中であるからこそ、「わたしたちの教区が、わたしたちの教会が、そしてわたしたちが主のご用のために、今、何を求められているのか」を、聖霊の導きを熱心に祈り求めつつ、主にある希望をもって、皆さんと共に探りながら実現に向けて前進したいと願っている。  
(主教サムエル大西 修)

うと、ただ簡単に謝罪してそれですすむことはできない」とお話しになり、在日韓国人の参加者の方が「普通の信徒の方たちがこのような学び、交わりの時を持つことは大変意味のあること。自分の周りの人達に今日のことを伝えま

す。」と話されました。  
第1回学習会を終え、この学びをぜひ続けていきたいとあらためて思いました。次回学習会は4月4日(土)教区館にて開催します。どうぞ参加してみして下さい。  
(もりた はるみ・庄内キリスト教会信徒)



# 大阪教区教会巡り 18 (最終回)



## 開拓伝道から35年

### — 聖ルシヤ教会

1972年大阪教区成立50周年の記念事業の一つとして、開拓伝道が取り上げられ、南海高野線沿線開拓伝道所として1973年12月16日開所礼拝を捧げてから昨年末に35周年を迎えました。この場所は、当時ドーナツ化現象と言われたニュータウンで住宅公団が開発した街を中心として、富

田林市西部、大阪狭山市、堺市西部（泉北ニュータウン）河内長野市、それに高野線堺東以南を含めて計画人口50万以上の人が住むエリアです。聖公会の教会は東光学園チャペルとしての聖ルカ教会があるものの、在住信徒は大抵大阪市内の教会などに通っている状況でした。30台後半から40台の同じ世代が親と同居する3世代家庭が多く幼稚園・小学校は一杯でした。この信徒中心に近隣の人たちに声をかけ、太田宅で川口教会の青年会の助けを借りた子供会を開き、聖テモテ（荒木司祭）、聖ヤコブ（宇野司祭）、川口（村岡司祭）の3教会の持ち回りで月1回家庭集会を開いて聖餐に与かりました。特に子供会は近くの子供達が50人

ほど集まり大騒ぎでした。これらの活動が教区のお目に止まったのかもしれない。この前後のいきさつや以後35年の経過は当教会ホームページの、「30年のあゆみ」をご覧ください。

現在のこの地域は、年輪を経て、静かな住宅地としての佇まいを見せています。しかし一方では子供達は大きくなり街を出て、高齢者となった人たちが中心の街になりました。教会は特にこの現象が強くなり、今世代交代の真只中ですが、しかしこの教会のDNAは今もすっかり根付いているように思えます。しっかりと礼拝を守ること、教会を訪れるのではなくて自分の居場所とすること、高齢・病氣・仕事のために出席できない人たちをいつも覚えること、地域のお役にたつこと、いつでも新しい人を迎える用意をしていること、などです。もともとこのことはどの教会も同じかもしれないませんが。

さて、この教会はこれから大きな方向転換のときを迎えようとしています。大阪教区全体の流れの中で、特に司祭

数の絶対的不足、財政難などの理由からです。ティームミニストリー、信徒の働きの強化を進めるにしても、1教会を支え、強化し、働くためには資質と情熱に恵まれた定住の教役者が不可欠であることは、この35年の流れの中で経験しました。教会の働きを活性化するためにも一定のサイズが必要かもしれません。教区で、南部大阪地区で、そして教会の中でこれからの展望を見据えた話し合いや計画、そして実行が求められているはずで

す。教会形成の途中で、特に教会堂建築を目指した頃行われた議論の最大のテーマは宣教のあり方でした。当時不足していた幼稚園や保育所などの併設などはかなり議論も調査も市との話し合いも行われました。しかし最終的には教会活動に専念しよう、地域の人たちに福音を伝えていこう、地域に光を掲げよう、家庭集会などを強化して、与えられたパリスシユ内にしっかりした地盤を固めて、幾つもの拠

点を作って、最後に幾つもの家の教会を作ろう。そして何かのときには、難波辺りに大聖堂を建てて皆が集まろうなどの話が出たり、本心に楽しい時間でした。基本には立派な会堂が目標ではなくて、いつも天幕が必要な場所に立て必要な時期にはそれを豊んで移動できる身軽さでいよう、と言うことでした。伝統を大事にしなが



ら、いつも神様の呼ぶ声にこたえて新しい経験に挑戦しようと言う考えが有りました。聖ルシヤは今改めて神様の私たちに求める言葉を聞くとときだと思えます。

何はともあれ、大阪教区の皆さんそして聖公会に連なる皆さん、1度この教会にお越し下さい。私たちが掲げる「世の光」の礎石とサンテ・ピッツォール制作のステンドグラス「創造の光」をご覧ください。そして私達の議論の輪に入ってみて下さい。

(文責…パウロ太田潔)



# 「聖なる三日間」を大切に

聖木曜日・聖金曜日・聖土曜日 の礼拝

主教座聖堂参事長 司祭 テモテ 内田 望

この礼拝の中で主イエスが弟子たちの足を洗ったことを記念します。この礼拝の後、全員で聖布類を片付け、祭壇などを磨きます。

○聖金曜日の礼拝  
大阪教区は夕方に教区「聖金曜日の礼拝」を行っています。ここ数年、諸事情により

この礼拝への参加者が減っています。そこで今年からは、昼と夕方に教区「聖金曜日の礼拝」を主教座聖堂で行います。午後1時からの聖金曜日礼拝は、「主の御苦しみの黙想と陪餐」という内容でみ言葉と説教に続いて、前日に聖別した主イエスのからだど血にあずかります。午後6時半からの教区「聖金曜日の礼拝」は例年通りの内容です。

○聖土曜日の礼拝  
復活日の前夕、復活のろうそくの祝福式、主キリストへの忠誠と、すべての悪の業を退けることを新たに洗礼の約束の更新を行い、聖木曜日の礼拝の後に片付けた布類等を全員で整えて、聖餐式を行います。

奠(サクラメント)的諸式の一つで、臨終に当たった罪の赦しという意味合いよりも、体と魂の「いやし」という意味を持っていきます。病床であれば司祭を招いて塗油の式を行ってもらえます。

また、この礼拝の中で各司祭は教区主教の前で司祭としての誓約を新たにし、聖別した油を携えて各自が司牧している教会に戻り、司祭としての職務を遂行します。この礼拝は、聖職だけの祈りではなく、信徒の皆さまも参列していただきたいと思っております。

○聖木曜日の礼拝【聖餐制定 記念の聖餐式と洗足】

聖木曜日の夕方、最初の聖餐式である「主の晩餐」が記念されます。この日は一年で聖餐にあずかる最もふさわしい時であると思います。また、

## 2009年度「聖なる三日間」の礼拝の予定

### 聖木曜日

☆ 4月9日(木) 午前11時  
聖油聖別の聖餐式(司祭按手約束の更新)  
《司式・説教 — サムエル大西修主教》

☆ 4月9日(木) 午後4時  
聖餐制定記念の聖餐式と洗足

### 聖金曜日

☆ 4月10日(金) 午後1時  
教区聖金曜日礼拝(主の御苦しみの黙想と陪餐)  
《司式・説教 — サムエル大西修主教》

☆ 4月10日(金) 午後6時半  
教区聖金曜日礼拝  
《司式 — サムエル大西修主教、  
説教 — ダニエル山野上素充司祭》

### 聖土曜日

☆ 4月11日(土) 午後5時  
聖土曜日礼拝(復活のろうそくの祝福、洗礼の約束の更新と聖餐式)  
※上記の礼拝はすべて主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。

## 第1回 祭壇奉仕者 オールター・ギルド 研修会

日時：3月29日(日) 2:00~4:30  
場所：川口基督教会 参加無料

入門編です。基礎からわかりやすく学んでいきます。これから始める方、すでにご奉仕されている方、興味のある方、どなたでも参加ください。

主催／大阪教区 宣教部 礼拝・音楽委員会

以上の聖なる三日間の礼拝を通して、信仰が盛り上がり復活の主日を迎えることができるならばと思っております。これらの礼拝には、神の救いの業と恵みが凝縮され、充滿してまいります。ぜひお集まりください。

# テゼ

フランスにある超教派の男子修道共同体

## ブリュッセル大会に参加して

岡 墻 希 美

昨年の暮れ、ヨーロッパを中心とした世界各国の若者約4万人がベルギーのブリュッセルに集まりました。これは毎年ヨーロッパのある都市で行なわれているテゼのヨーロッパミーティングで、日本からも10数人の若者が参加していました。

されているのですが、祈りといっても普段参加している聖公会の礼拝とは全く違います。何度も繰り返される歌と沈黙の時から成り立っており、私の場合、この歌の美しさがテゼに興味をもつようになったきっかけでした。

5日間の日程で、1日3度の祈りと食事、分ち合いやさまざまなプログラムが用意

昨年ランベス会議に参加する直前、その準備として語学向上のためフランスのテゼ共同体で過ごすことを決めました。しかしその1



筆者(右から二人目)と内田葵さん(川口基督・左端)

カ月の間に分かったことは、私に必要だったのは語学力よりも、祈りを通して神様への思いを確認することだったのです。大きな恵みと幸せをいっぱい受けて、勇気と少しの自信を持って世界会議に臨むことができました。ブリュッセルでの年明けは、ずっと家族だったような温かいホストファミリーに囲まれ



テゼ会場

て、特別なものになりました。近くの教会で人々の平和のための祈りを献げ、新しい年を祝福することがあらゆる言語で交わされました。ヨーロッパだけでも本当にたくさんの言語があり、内容のすべてを理解することはできなくても、私たちはともに祈り、歌い、お互いに出会えたこと、歓迎されたこと、分ち合えたことに感謝しました。

テゼと一緒に祈りを捧げたことは、神様との出会い、また他の人々とのたくさんのお会いを私に与えてくれました。初めはその想像をはるかに超える大勢の人に圧倒されましたが、祈りを重ねるごとに心はひとつになっていき、そして言葉に出来ないしあわせを感じました。ふだん日本

で生活している時には難しく思える信仰が、テゼの中では自然と私の中に入ってきました。大切なことは、何か特別なことを成し遂げるのではなく、常に神さまが共にいて、小さい私たちが必要としてくださっていることに気づくことでした。

最終日、朝の礼拝でブラザーが言いました。私たちは自分たちの国に帰って何ができるのだろうか―できることが

どんなに小さくても、それを行なわねばならない。今回この原稿の依頼の話を聞いたとき、テゼで受けた祈り、幸せをひとりでも多くの人に伝えることがこの問いへの答えになればと思いました。まだまだ書き尽くせない思いがありますが、どうか大自然広がるテゼの村で祈っている様子を想像してください。

(おかがき のぞみ・大阪聖三一教会信徒)

## 世界の窓

カンタベリー大主教とコプト正教会 教皇が会談

2009年1月31日、アレキサンドリアにおいて、カンタベリー大主教ローワン・ウイ

リアムス博士とコプト正教会教皇シエノウダ3世が会談した。アレキサンドリアでの会談は近年定例となっている。シエノウダ教皇は大主教を歓迎し、大主教はそのもてなしに感謝の意を表し、両教派間の友好の深さを確認し合った。コプト正教会はカイロだけで

も4万人に及ぶ子どもたちに日曜学校での教育を行うなど、若者たちへの倫理的影響力を与えており、シエノウダ教皇のキリスト教教育の貢献度が高く評価されている。

(2009/2/1/ACNS4564)

首座主教が集い会議を開催

提案されていたアングリカン契約およびジンバブエや経済危機のような世界的な問題について、38人いるほとんど首座主教が集い、2月1日から5日までエジプトのアレキサンドリアにあるホテルで

(次頁最下段につづく)

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 3月11日(水) 午前11時
於 主教座聖堂(川口基督教会)
説教者 岩城聰司祭

- 執事 パテロ 井上 栄 (1966.3.1)
司祭 フレッド・ケトルウエル (1952.3.3)
伝道師 南 民子 (1961.3.10)
司祭 山崎 貞一 (1951.3.15)
宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー(1970.3.17)
宣教師 リーラ・ブール (1924.3.20)
司祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)
主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21)
司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22)
伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)
宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24)
伝道師 林 歌子 (1946.3.24)
宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン(1965.3.24)
伝道師 姉川 鷺声 (1989.3.24)
司祭 岸本 隆一 (1953.3.26)
司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)
司祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

◇ 4月8日(水) 午前11時
於 主教座聖堂(川口基督教会)
説教者 福田光宏司祭

- 執事 中西 義之 (1909.4.1)
主教 ジョン・マキム (1936.4.4)
司祭 ジョージ・ウィリアム・ローリングス(1933.4.7)
司祭 名出 武 (1945.4.7)
伝道師 織間 小太郎 (1934.4.15)
司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956.4.15)
司祭 ペテロ 薮本 竹次 (1979.4.15)
司祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド(1993.4.15)
司祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001.4.17)
宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922.4.20)
司祭 ステパノ 井上 俊一 (1983.4.20)
宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002.4.21)
司祭 早川 喜四郎 (1943.4.23)
主教 ジョン・チャールズ・マン (1967.4.28)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、主教座聖堂川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加のうえお祈りください。



阪神・淡路大震災14周年
追悼礼拝・コンサート
西宮聖ペテロ教会で心静かに

西宮聖ペテロ教会では、阪神・淡路大震災14周年を迎えた2009年1月17日(土)午後7時から、恒例の「追悼礼拝・コンサート」が開かれ、男性、女性合唱団の参加を得て、心静かに震災犠牲者のための追悼の合唱と祈りのひとときを過ごした。コンサートは震災2年目の1997年から始められ、今年で12回目。今回もセレスティーナ男性合唱団(40人)とアルカシエル女性合唱団(16人)が参加し、セレスティーナ合唱団は「いい日旅立ち」「見上げてごらん」などの懐かしい歌の数々のあと、フォーレの「ラシーヌ賛歌」などを披露。アルカシエル女性合唱団も含めた混声合唱では「静けき河の岸辺を」「神ともいまして」など讚美歌を歌いあげたあと、最後は会衆もふくめ、一同で「いつくしみ深き」「安かれわが心を」「主よ

みもとに」の讚美歌を、追悼の心をこめて合唱した。今回のコンサートへの会衆は約50人と、例年に比べやや寂しい思いが免れなかったが、奥康功司祭が挨拶とメッセージで「震災はもう済んだことだと言われることがある。風化を嘆く被災者や孤独死の人たちのことを忘れてはならない」とのメッセージを述べた。終わりに大西修主教が震災犠牲者を覚えて祈りを献げ、参加者一同が心をめて「アーメン」を唱和した。(編集部)

(前頁よりつづく)
会議が行われた。初日の首座主教会議は、アレキサンドリアの聖マルコ大聖堂での礼拝から始められた。ローワン・ウィリアムス大主教は説教の中で、首座主教会議のありかたについて言及し、語り合う人々の中にイエス・キリストの内在を見つめ、傷つけ合うような議論を避けるべき重要性を示唆した。
(2009/2/1/Episcopi Life Online)
(司祭 松平 功)

# 教 区 の 動 き

## 常置委員会報告

11月25日(第1回定例)

(第100回定期教区会終了直後)

\*委員長に岩城 聰 司祭を、書記に竹内信義 司祭を互選した。

12月9日(第2回定例)

## 主教報告

①第100(定期)教区会より、執事ヨハネ趙 鍾必に議員資格を与えた。

②2009年9月23日(水)

開催予定の日本聖公会宣教150周年記念礼拝の会場を、香蘭女学校講堂から「東京カテドラル聖マリア大聖堂」に変更となった。

③11月27日(木)三重県菰野町にある教区所有地の現地視察を実施した。

④山根貞夫司祭(退職)は11月23日に夫人と菰野のケア

ハウスに転居された。

## 教務局長報告

①年末年始の教区事務所休業は30日から1月6日までとする。

②11月度経常会計報告が米虫 克次職員により行なわれた。大西主教の按手式特別会計の収支は経常会計の費目、主教自由資金からの拠出なども含めれば、総額として4,466,482円であった。

## 協議事項

①第1回常置委員会(教区会后)議事録を承認。

②下記諸教会より推薦された信徒奉事者候補が推挙された主教により承認された。

・聖マルコ教会：伊藤良三、佐藤耕一、長野紀子、錦織依子、森田斉子、和田育子

・聖トマス教会：服部喜代司、原植寿子、牧口真理、山崎 信

・聖アンデレ教会：宇野哲夫、

奥田佳永子、田中昭久  
・城南キリスト教会：金光秀晃

・聖三一教会：高田須磨雄  
・聖ヨハネ教会：興津健蔵、廣政 博

・川口基督教会：内海良輔、齋藤 誠、社領共美、高橋 明子、田中 宏、田中 史、ユ一ワン・ヒユーム、横倉 宏

・聖ペテロ教会：岡田東一、久保孝彦、倉戸ナオミ、瀬戸栄一、新村隆一

・守口復活教会：上坂政憲、小野 創

上記の方々を信徒奉事者として常置委員長より推挙し、大西主教はこれを2009年1月1日付で認可された。

③大阪府より、川口基督教会 礼拝堂を指定文化財とすべく文化財保護審議会答申が出され決定したとの連絡があり、教区として必要な手続をとりたいとの主教の諮問に同意した。

④東京教区「エルサレム教区 協議委員会」からの呼びかけでジェフ・ハーバー氏およびナイム・アテイク司祭らが4月に来日し講演・交流会が開催される。関西

での交流会開催を認めた。

⑤教区会において、昨年各委員長が委員を選出するに際し十分な余裕がなかったとの指摘がなされた。今後、前年度の委員構成表を配り、時間的な余裕も設定してお願いすることとする。

⑥1月15日に行なわれる韓国ソウル教区・金根祥(キム グンサン) 主教就任式に大西主教および趙執事が出席する。

⑦1月11日、12日、管区で開かれる宣教150周年記念のプレ宣教協議会に常置委員長および宣教部長がこれに出席することとした。

⑧第101(臨時)教区会開催の日程などを次のとおり確認した。

\*日程：3月22日(日)午後2時～3時。その後、懇談会を実施する。

\*書記：竹内信義司祭、内田望司祭、\*会計：米虫克次

⑨セクハラ防止委員会を、教務局および人権担当(齋藤 壹司祭)が中心になって立ち上げることとした。

⑩聖パウロ教会のエレベーター敷設等についての案を了承

した。

⑪人事案について審議した。

1月13日(第3回定例)

## 主教報告

①1月1日付にて、執事パウロ井上進次を司祭ヨハネ奥康功のもと、尼崎聖ステパノ教会牧師補に任命した。

②第101(臨時)教区会を3月22日(日)午後2時より主教座聖堂で開催すべく、公示を出す。

③1月15日に行なわれるソウル教区・金根祥(キムグンサン) 主教就任式に出席する。

④3月1日をもって教区内22全教会の巡回を終る。

⑤懸案の人事について説明がなされた。

## 教務局長報告

①先月承認された信徒奉事者の認可状(9教会32名)を発行した。

②3月開催臨時教区会後の懇談会についての主な内容は、日本聖公会宣教協議会に向けての準備になるよう計画



する。  
 ③東京教区招聘のハーバー氏、アテイク司祭兩名の関西での講演会は、宣教部が担当することとする。

**協議事項**

- I. 第1回(2008/11/24)、第2回(2008/1/09)常置委員会議事録を承認した。
- II. 第100(定期)教区会議事録が朗読され承認した。
- III. 第101(臨時)教区会後の宣教懇談会の内容について協議した。
- \*教区における現下の押し迫った状況について、具体的な内容を継続的に話し合う必要を認めた。
- IV. 人事の件
  - \*4月からの異動について協議し、主教の諮問に答えた。
- V. 2009年度教役者・教区職員給与承認の件
  - \*全員について異議無く承認した。
- VI. ウィリアムス神学館の新しいカリキュラム
  - \*伝道師養成コース、信徒奉事者養成コースについて協議。

**教会・施設の動き**

**守口復活教会**

○礼拝奉仕者学びと黙想の会を開催  
 2009年1月12日(祝)

朝10時から教会内の信徒奉仕者、聖卓奉仕者、サーバー、オーガニスト合計16名が集まって学びと黙想、実習をしました。まず「礼拝とは何か」

の山野上司祭の発題に続いて黙想、話し合いの時、楽しい昼食、午後は各パートごとの奉仕者に期待されていること・役割についての話、その後パートに分かれての実習をし、全員で聖卓を取り囲み聖餐式を献げました。その後お茶を飲みながら分かち合いをして、夕刻5時に解散しました。パート内、パート間のスタンスあわせとして良い機会でした。

**堺聖テモテ教会**

○1月3日に、新春チャペル・チャリティコンサートを行い、地元出身でNY在住のピアノ

**VII. セクハラ防止委員会**

\*早急に対処することとした。

スト西川悟平さんと、NYを拠点に活躍中の田村麻子さんが出演しました。西川さんはジストニアという神経系の病で、何年も両手の指が動かなくなっていました。奇跡的にピアノとしてカムバックされました。まだ左手の指が二本しか動かない状態で、心を込めて演奏してくださいました。地元の人々と教会員など、200名以上の人々が礼拝堂を埋め尽くしました。

**大阪聖ヨハネ教会**

○近隣の子供たちと共に、子供のクリスマスをお祝いました。  
 ○日常、教会の会館を使用している近隣の婦人たちと共にクリスマスイブの燭火礼拝を行った。

○1月3日は、聖ヨハネ教会と関係が深い聖ヨハネ学園の子供たちを招待して、交流の一時を持った。費用の一切は信徒の方々の援助である。

**○1月17日(土) 聖ヨハネ学園**

関係する方々の交流会がもたれた。

**川口基督教会**

○2月28日(土)午後2時から第3回川口チャペルコンサート「十字架をみつめて」を行います。(入場無料)

**大阪城南キリスト教会**

○幼児礼拝始動!  
 この数年、若い信徒家庭に子どもが与えられ、礼拝堂に子どもが響くことが多くなりました。これを機会に昨年6月から主日礼拝に引き続いて「幼児礼拝」を始めている。

**聖ガブリエル教会**

○ガブリエル感謝祭、リニユール!  
 17年前、現在の場所に教会、聖公会生野センター、保育園が与えられたことを感謝して、

喜びを分かち合おうという趣旨で、その翌年から「ガブリエル感謝祭」が11月中旬に行われてきた(幼児祝福式、模擬店、ゲームなど)。昨年、

聖公会生野センターが移転したことや、教会員の高齢化もあり、今回は趣向を変えて、11月16日の午後、ガブリエル感謝祭「祈りを音楽の調べに乗せて」―ゴスペルとオルゴールのひとつとき―を開催した。坂本真紀さん(大阪聖パウロ教会)のゴスペルとメッセージ、矢田部宏さん(聖ガブリエル教会)のオルゴール演奏を楽しんだ。保育園児、卒園児や保護者、保育園職員、教会員が集って、礼拝堂がほぼ満席(約50人)となった。

**大阪教区子ども礼拝**

**キッズフェスティバル**

**2009**

**まいごのひつじは きみだ!**

「その一匹のことを喜ぶだろう」

(マタイ18:10~14)



**2009年4月29日(水・祝)**

**10:00 ~ 15:00**

**会場：川口基督教会**

主催：大阪教区 宣教部生涯学習委員会  
 (委員長 司祭 ダニエル 山野上 素充)

- 問い合わせ \_\_\_\_\_  
 石橋聖トマス教会 TEL 06-6854-8657  
 キッズフェスティバル実行委員会：斎藤みち
- 申し込み \_\_\_\_\_  
 石橋聖トマス教会 FAX 06-6854-8658



祝受洗

尼崎聖ステパノ教会

ジョイ 鈴木 愛乃  
グレース 鈴木 史江

堺聖テモテ教会

ラザール 和田 興夫  
キアラ 和田 英子  
ルツ 深堀 由起子  
マリア 望月 妙夏  
アンデレ 望月 祥裕  
オーガスティン 望月 是成

大阪聖ヨハネ教会

エリサベト 谷岡 則子  
主の母マリア 谷岡 優花

川口基督教会

クレメンス 上之園 颯  
グレゴリオ 山田 義男  
ポーラ 村片 富子

庄内キリスト教会

テレサ 渡辺 えみ子

聖ルシヤ教会

リベカ 谷岡 千晶  
フランシス 谷岡 千晶

大阪聖パウロ教会

マリア 石谷 晴子

大阪城南キリスト教会

セシリア 山本 涼  
オネシモ 岡田 良一  
テレサ 渡壁 里華

西宮聖ペテロ教会

セシリア 小原 麻栗子



祝受洗

尼崎聖ステパノ教会

グレース 鈴木 史江

堺聖テモテ教会

ラザール 和田 興夫  
キアラ 和田 英子  
ルツ 深堀 由起子

川口基督教会

グレゴリオ 山田 義男

庄内キリスト教会

テレサ 渡辺 えみ子

聖ルシヤ教会

リベカ 谷岡 千晶  
マリア 都村 明美

大阪城南キリスト教会

オネシモ 岡田 良一

西宮聖ペテロ教会

クララ 金高 直子  
セシリア 小原 麻栗子

魂の平安を  
祈ります

川口基督教会

ポーラ 村片 富子  
(1月13日・91歳)

石橋聖トマス教会

ヨハネ 早川 善樹  
(12月5日・83歳)

大阪聖パウロ教会

ペテロ 森 義和  
(12月9日・67歳)

大阪聖アンデレ教会

ヤコブ 後藤 昇  
(12月31日・91歳)

大阪聖アンデレ教会

高見澤 國子  
(1月3日・94歳)

大阪城南キリスト教会

ラケル 逢坂 斎  
(10月5日・87歳)

西宮聖ペテロ教会

ダビデ 原田 信男  
(11月19日・77歳)

ルツ

(11月23日・83歳)  
小野 綾子  
(11月27日・94歳)

富田林聖アグネス教会

薮本 勝之  
(11月13日)

大阪聖ヨハネ教会

ハンナ 田中 久子  
(12月15日・82歳)  
ヨセフ 久慈 次郎  
(1月6日・70歳)

訂正とお詫び

前号(404号)「祝受洗」の聖贖主教会の眞子義人さんの教名はマタイです。誤ってアンデレになっていました。お詫びして訂正します。

編集後記

大西主教の新連載コラム「松崎町だより」が始まりました。ご期待下さい。「教会巡り」は今号で終了、次号からは信徒の方の証し「主と共にあゆむ」が始まります。(田宮)

2009年大阪教区青少年キャンプ  
スタッフ募集のお知らせ

本年も下記のとおり、  
青少年キャンプ(宣教部主催)を行うことになりました。

日程: 8月6日(木)~8月8日(土)  
場所: 紀泉わいわい村(大阪府泉南市)

小学校3年生から中学校3年生までを対象にしたこどもたちのキャンプです。開催にあたって、一緒にキャンプを企画、実行してくれるスタッフを募集します。対象年齢は18歳以上(高校生は不可)です。

興味のある方は  
habatamix@hotmail.com(並里翔・大阪聖パウロ教会)  
までお気軽にメールしてください。  
その他、お問い合わせがあれば、宣教部長・齊藤壹司祭  
(06-6772-4152 大阪城南キリスト教会)まで